

# ドキドキわくわく あたらしい本 えほん

2021.12

## とうみんホテルグッスリドーズ

かめおかあきこ 作  
岩崎書店

あきがふかまるころ、ホテル グッスリドーズへどうぶつたちがやってきました。ヤマネにリス、くまにアナグマ。ここは、ふゆをねてすごすためのとうみんホテルです。ぶじにふゆがこせるように、ごはんをたべたらあたたかいベッドで「グッスリドーズ」。はるがくるまでねむりにつきます。このほんをよんだら、あなたもとうみんしたくなるかもしれません。

## ピンクいろのうさぎ

たかおゆうこ さく  
講談社

あるところに、しろいうさぎたちがすんでいました。あるとき、そこにピンクいろのうさぎがうまれました。なまえはぴよん。「どうしてぼくはピンクいろなんだろう？」どこかにじぶんとおなじピンクいろのうさぎがいるかもしれないとおもったぴよんは、たびにでることにしました。9つのやまと8つのたにをこえていきます。いったいどんなであいがあるでしょう。

## 低学年

## はやとちりからはじまった

藤田千津 作 夏目尚吾 絵  
文研出版

いちねんせい 一年生のマコトは、おなじ組の<sup>くみ</sup>コウくんから、やきいもをするサツマイモばたけへ<sup>い</sup>行こうとさそわれる。ところが、はたけのあるばしょが<sup>こ</sup>子どもだけでは行ってはいけないといわれているところだったため、マコトは「やめようよ」といってしまう。

そんなふたりを<sup>み</sup>見て、なかまにくわわった<sup>さん</sup>チコちゃんと三人は、やきいもについてかぞくにかくにんをして、こうえんにあつまることにする。そして、そのこうえんで、三人はひとりのおじいさんとであう。

## 物語 王さまとかじや

ジェイコフ・フランク 文  
ルイス・スロボドキン 絵  
八木田宜子 訳  
徳間書店

ある国に、「かしこいホレイショ王」とよばれる<sup>はつ</sup>八さいの<sup>おう</sup>王さまがいました。この王さま、<sup>だいじん</sup>大臣たちがきめたことだけをしないではいけなかったため、しあわせとはいえませんでした。

そんなある日、<sup>ひ</sup>馬で<sup>うま</sup>森に<sup>もり</sup>行った王さまは、からすにかんむりをとられてしまいます。大臣たちが、なににもできないなか、王さまは<sup>むら</sup>村のかじやをよびだしました。

かじやは、かんむりをとりもどせたいでしょうか？

## カティとつくりかけの家

福井さとこ 作・絵  
ポプラ社

チェコ共和国きょうわこくの小さな街まちに住む8さいの女おんなの子カティは、雪ゆきげしょうをしたおもちゃ箱ばこのような街から山やまへ、家族かぞくといっしょに車くるまで向かいます。坂さかをこえると、まっ白しろな大麦おおむぎ畑はたけのなかにポツンと1けん、つくりかけの家ねんがありました。5年ねんもの間あいだ、パパといっしょにつくった、手づくりの家てがもうすぐできあがるのです。

「ああ、この家うちに、はやくすみたいな」  
一番いちばんのお気きに入いりのテラスでに出て、ハンモックはなしによこになると、雪ゆきだるまたちがカティの話をはなししているようなのです。思おもわずとびおき、カティは雪景ゆきげ色しきのなかをたんけんすることにしました。

## オンボロやしきの人形たち

フランシス・ホジソン・バーネット／作  
尾崎愛子／訳 平澤朋子／絵  
徳間書店

ある女おんなの子この子どもべやにある「オンボロやしき」とよばれる古い人形いへの家なか。家なかも中ちゆうに住すむ六人ろくにんの人形にんぎょうもぼろぼろでしたが、人形にんぎょうたちはいつでもなかよく陽気ようきにくらしていました。

ある日あたら、子どもべやに新しい人形にんぎょうの家「ピカピカ城じょう」と、りっぱではなやかな七人しちにんの貴族きぞくの人形にんぎょうたちがやってきて、オンボロやしきはへやのすみへおしこまれてしまいます。それでも人形にんぎょうたちはピカピカ城じょうをわくわくしながらがめ、楽しくすごしていました。ところが、ある日あたら、女おんなの子この乳母うばがオンボロやしきをもやそうとしていることを知しり、人形にんぎょうたちはふるえあがります。

# 高学年以上

## ジークメーア—小箱の銀の狼—

齊藤洋 作 にしざかひろみ 絵  
偕成社

ジークメーアは、呪術師じゆじゆつしの母ははと海辺うみべの洞窟どうくつでくらしている。ジークメーアは泳およぎが得意とくいで、どこにいても方角かたがたがわかり、暗闇くらやみでももの形かたちがわかり、半弓はんきゆうの技わざにたけているふしぎな少年せうねんだ。

母ははは人ひとや家畜かちくの病びょうを治なおしたり、先まづのことがわかったが、ある日あるひ、村むらに海賊かいぞくが来きると告つげた。そして、海賊かいぞくを倒たしにきた百人隊長ひやくにんたいちようのランスの命いのちを助たすけたことをきっかけにジークメーアはランスと旅りんごくに出でることになった。旅りんごくの目的りやくは、隣国りんごくフランク王国おうこくに対抗たいかうし、「小箱の銀の狼」を手てに入れること。そのために、ランスは、「フクロウより見える少年せうねん」をさがしていたのだ。

ジークメーアの冒険ぼうけんが始はじまった。

## 天の台所

落合由佳 著  
講談社

台所だいどころは、おうちの中の大切な場所しんそう、「心臓しんぞう」だということ、ばあちゃんが言いっていた。うちの家事かじを一手ひとてにやってくれたそのばあちゃん、もういない。ぼくはこの家うちで、お父ちちさんと弟あに・妹いもうとの4人よにんで暮くらしている。

そんな時とき、ばあちゃんが使つかっていた台所だいどころを元氣げんきにするため、ばあちゃんの友だち「がみババ」に料理りょうりを教おしえてもらうことになった。料理りょうりをして、台所だいどころを活用かっくしていれば、台所だいどころは元氣げんきになるんだとか。

がみババのおかげで、ぼくの料理りょうりのうではどんどん上あがった。そこで先生せんせいに、「料理コンテスト」に出場しゅつじやうしてみないかと、声をかけられた。